

令和2年7月17日

令和2年度病虫害発生予察特殊報（第1号）

和歌山県農作物病虫害防除所

1. 病虫害名：タバコノミハムシ *Epitrix hirtipennis* (Melsheimer)
2. 作物名：ナス
3. 発生地域：紀の川市
4. 発生確認の経過および県内外での発生状況

本年5月下旬、紀の川市の露地栽培ナスにおいてノミハムシ類の成虫による葉の食害が確認された。成虫を採集し、農林水産省神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、本県ではこれまで未確認のタバコノミハムシであることが判明した。なお、県内の他のほ場における発生は確認されていない。

本種は、平成23年に群馬県で初めて発生が確認された。その後、平成24年に栃木県、平成25年に神奈川県、平成27年に静岡県、平成28年に愛知県、平成29年に三重県、岐阜県、平成30年に大分県、新潟県、令和元年に奈良県、滋賀県、岡山県、大阪府、京都府から病虫害発生予察特殊報が発表されている。

5. 形態および生態

成虫の体長は1.5～2.5mm、長楕円形でやや扁平であり、後腿節が顕著に肥大している。体色はやや光沢のある赤褐色で、上翅に不明瞭な黒斑がある（図1）。

成虫は後脚を用いて活発に跳躍する。卵は地表に産みつけられ、孵化した幼虫は地中で根を加害した後、地表近くで蛹化する。

国内ではこれまで、ナスの他、ジャガイモ、トマト等のナス科植物で発生が確認されている。

6. 被害の特徴

成虫が葉の片側の表皮を残して、または葉を貫通して食害する。このため、直径1～2mm程度の白い斑点状の食害痕や円形の穴が多数観察される（図2）。

7. 防除対策

- 1) 現在、ナスにおいて本種に対する登録薬剤はないが、他府県の特殊報の事例によると、主に有機栽培や減農薬栽培のほ場で発生するとされており、慣行の薬剤防除を行っているほ場において被害が拡大する可能性は低いと考えられる。
- 2) 本種が寄生している作物の栽培終了時には、近隣のナス科作物へ本種が移動しないように残渣を速やかに処分する。



図1 タバコノミハムシ成虫



図2 ナスの葉の被害

和歌山県農作物病虫害防除所
電話：0736(64)2300